

KOCHI 2012 ROTARY 2013 CLUB SINCE 1937



2012-13年度国際RIテーマ

週報



Weekly report 第3125回 2013年5月14日 2013年5月21日発行

● 会長挨拶



私が海外へ出ている間に、あっという間に円が100円を超えていました。この3年間、円高が放置されたままの状態が続いたせいで、人為的に行われているとしか見えないような事柄で日本の競争力の低迷、あるいは優良な企業や人が外国へ出て行ってしまうという流れがようやく食い止められてきたのかなというところで、アベノミクスの効果、賛否両論ありますものの第1段階については素直に結果を評価すべきではないかと思えます。

連休前、ちょっと気になったことがあります。全国のイカ釣り漁業協同組合が、円高による燃料高騰を受けて2日間の抗議の休業をして、政府に対策と補償を求めているというニュースがありました。しかし、後でよく調べてみると、この4月26、27日というのは満月の大潮でイカ釣り漁業はほとんど漁が期待できない。従ってこういう日はほとんど漁に出る船はいないという日なんだそうです。それをテレビが大々的に取り上げて、イカの値段が上がるだの云々ということを書いていました。抗議の日程はともかくとして、私がこれほど思ったのは、確かに為替の変動によって得をする人もいれば損をする人もいます。しかし、円が安かった時に彼らはイカを安く売っていたのか。もちろん、為替変動、その他の事情で燃料が上がれば販売価格を上げたり、何らかの手当をしなければやっていけないというのはよく分かります。ならばこそ、まずイカ漁業関係者は、イカの値段を上げる努力をする。あるいはアピールをする。業界自体の体質改善、体力増強をする。そういうことを言わずにいきなり政府や自治体

に向かって、補償金や補助金を出せという主張をする。しかも、それが安易に認められると考えているのかという、このスタンスについては、私は理解に苦しんでいました。

オイル価格はこの十数年間、暴騰した時であれば何割も安くなった時期もあって、始終変動してきたようではありますが、漁業者に対する軽油の燃料価格は、我々が市中で手配する軽油価格に比べて遙かに安いという特例が認められております。しかも調べてみると、過去燃料が高騰した時にはしょっちゅう政府や自治体に対して補助金の申請、多額の補助金、あるいは高騰分のほとんどを補う税金の減免という施策が繰り返行われてきたようです。かと言って、燃料が下がった時に税金を戻したり、税金を上げたということは聞いたことがありません。

ちょっとネットで調べるだけで漁業関係、農業関係への補助金が恐ろしいほどの額で支出され続けてきたこと。また、少し乱暴な言い方になりますが、この分野の業界の方々、すぐ事業関係に何か起こると決起集会を開いて政府や自治体を脅かして税金や補助金をぶんどるということが続いてきているように思います。私は決して補助金全てが悪いというつもりはありません。前向きに何かを育てていこう、援助をしていこうという形の補助金ならばいいんですけど、自助努力、業界の体力、販売力の改善ということを抜きにした、こういう業界全体を補助金漬けにしていく。通常の産業界なら当たり前に行う経営努力を抜きに、税金で何とかしようという思考回路そのものが業界の体力、競争力を大幅に奪ってきたように思われてなりません。多少、旧聞に属する話題ではありますが、イカ漁船の休業はイカがなまのかという、イカにも下世話な話で失礼しました。

高知クラブが心を1つにして支える 関裕司ガバナーエレクト

■活動報告他

- ・5月11日(土)～12日(日) 短期交換派遣プログラム 地区最終選考会 並びにオリエンテーション/サンライズホテル
- ・5月18日(土)～19日(日) 第18回 国際ロータリー日本青少年交換研究会広島会議/広島
- ・6月 1日(土) インターアクトクラブ 会長・幹事研修会/愛媛
- ・6月15日(土) 長期交換報告会/観音寺
- ・6月21日(金)～28日(金) RI国際大会/リスボン

5月11～12日 短期交換派遣プログラム 地区最終選考会 並びにオリエンテーション

■本日のプログラム [5月21日]

ゲストスピーチ 井上 孝志氏 「なぜ、トマト？」

● **ロータリーソング**「四つのテスト」

● **今週のピアノ曲**「時には母のない子のように」

ピアノ演奏：山内るり会員

● **お客さま**

火曜会 中澤佐紀子さん 久松智津さん
ライラセミナー受講生 前田光昭さん



◆ **ライラセミナー終了証の交付**

宇治電化学工業（株） 管理部財務課 前田光昭さん

先般行われたライラセミナーにご推薦いただき、参加してきました。この場をお借りして、皆様に心よりお礼申し上げます。

今回のライラセミナーは、3月21日から24日の4日間行われ、私たちの班は13名1グループで寝食を共にして無事プログラムを終えました。参加している人の意識やテーマの内容等、非常にレベルが高く、厳しい内容であったことは事実ですが、多くの気づきを得ることができました。セミナーの核となるプログラムにバスセッションと呼ばれるテーマに基づいて各班で話し合いをし、後で発表するフォーラムがありますが、朝方まで話し合いをして苦勞しました。



今回のテーマは「良い社会とはどういうものか」というものでしたが、私が感じたのは、このテーマの答えを見つけることが全てだったのではないかということです。年齢や性別、社会的立場の全く違う自分たちがお互いを思いやって、尊重し合って、腹を割って話していくとこんなにも絆が深まって信頼関係ができるのかということに感動しました。同時に、今の自分の周りやコミュニティから少し失われつつあるものじゃないかと感じたのも正直なところでした。こういう感覚は久しぶりだなと感じました。

この4日間で絆が深まり、かけがえのない一生の仲間となって余島を後にしました。私が感じたことをこれから先、どう広げていけばいいのか。具体的にはまだまだ分かりませんが、何か考えて自分から行動していくように努めていきたいと思えます。非常に素晴らしいセミナーでしたので、より多くの若い人たちに参加していただけることを祈っています。皆さんに推薦していただき参加できたことを改めてお礼申し上げ、報告といたします。ありがとうございました。

● **ガバナー公式訪問について**



ガバナー公式訪問についての説明は、手続き要覧に記載していますのでご覧ください。

関ガバナー年度の公式訪問は、ガバナーと地区を担当するガバナー補佐、当クラブからの随行員の3名が1組になって訪問します。今日お配りしましたスケジュール表に基づいて、7月12日、高松西RCを皮切りに、約半年間で74クラブを皆さんに随行員として各クラブに訪問していただきたいと思っています。旅費規定により、交通費、宿泊費、メイクアップ費も含めて支給されますが、万が一事故が起こった場合は、その車にかかっている任意保険で処理をしていただきます。ガバナー事務所から別途保険はかけませんので、ご了承いただきたいと思えます。県外のクラブに訪問するいい機会ですし、1日ロータリーにどっぷり浸かって見識を高めていくことも大事だと思います。随行員には経験年数等、縛りは一切ありません。若い方にもどんどん参加していただきたいと思えます。どうかご協力をよろしく願います。

● **ロータリー財団新地区補助金申請について** 広末副会長



社会奉仕委員会の協力を得て、地球33番地を強力にアピールしていこうと、ロータリー財団新地区補助金の申請をしていました。しかし、4月17日付けで、3月末の締切に予定よりかなり多くの応募があり、30万の予算を一律10万にするという連絡がありました。ロータリー財団委員長、幹事、私で打ち合わせしましたが、今回は高知RCとしては取り下げて再度検討することに、5月第1理事会で決定し、地区の財団本部に連絡しました。来年度、もう一度じっくり検討していくことになりました。

ロータリー財団地区補助金奨学生について、高知RCから推薦していた見津田さん（高知大生）が合格したと、会長宛に正式に報告がありました。

**● 幹事報告**

- ・観世流の能のチラシを配付しました。
- ・ポリオ撲滅2億ドルチャレンジへの感謝状が届いています。
- ・本日、6時から現新合同クラブ協議会を行います。
- ・来週、21日は通常例会、24日は8クラブ合同夜間例会、28日は休会です。間違いのないようお願いします。

● ゲストスピーチ
**その日、その時にしか
経験する事の出来ない特別な時間**

高知県地域子育てサポーター 吳 静恵 氏

私は人と出会うことやいろんなことにチャレンジすることが大好きです。マッコリにワインを混ぜて飲むのも大好きで、人もお酒も混ざり合うととても深みが出るなと思っています。

今、私はいろんな活動をしていいますが、その中でたんぼぼ教育研究所と言って、不登校や引きこもりがちな若者の支援活動や保護者の相談も受けています。しかし、中には相談に訪れにくい若者もいます。そんな場合は家庭訪問をして、ご家族からいろんな情報を得て丁寧に状況を知った上で面談する形を取っています。いきなり何悩んじゅうがというスタイルではなく、あくまでも若者が相談に来たいという気持ちを大事にしています。

チャイルドラインこうちは3年を迎えました。チャイルドラインは全国77団体の皆さんが毎日ボランティアで子どもからの電話を一生懸命聞いています。極端な話をすると、電話をかけてきた子どもに「このくそばあ」と罵声を浴びせられることがあります。けれども、それを注意したり、説教することはありません。罵声を浴びせないといけない子どもの気持ちを大事に聞いていきます。そんなふうには言わないといけない何かがあった？という、違う方角から話を進めていくと声のトーンが下がってきます。しかし、まだまだ大人を信用していない子どもが多くいます。大人に認められた体験のない、愛された経験のない子が育っている現状があります。そんな子どもたちが何回もチャイルドラインに電話をかけてくる間に、少しずつ変わってきます。

今年は内閣府から支援をもらって、サッカーの本田選手が無償で協力してくれてチャイルドラインを応援するポスターができました。高知でも国際ソロプチミスト高知様より多大なご支援をいただき、子どもたちが虐待から逃げ込んでこれら子どもシェルター設立のために活動中です。先日、5月8日には24時間託児所ルナソルがオープンしました。これはNPOが設立したもので、私に所長にという声をかけていただきお



引き受けしています。1人親家庭で夜の仕事をせざるを得ないお母さんは小さい子どもを置いて仕事には行けません。ルナソルは24時間体制ですので、そんなお母さんが安心して働けるように支援ができればいいなと思っています。親御さんに余裕がなくなると、子どもは可愛いわれどついつい叩いてしまったり大声を出すといったことは日常的にあることです。けれど、これがエスカレートしてしまうと、子どもの心は、自分は大事にされていないという、自己肯定感がどんどん低くなっていきます。その子どもたちが大人になると就職しても長続きしないし、ニート、引きこもりになってしまうことが多くあります。

世の中ではよく、今の若者は何？と言われますし、そういう目でみがちです。でもそうしたの誰なのか、その子、その人の育ちはみんな違っているんだ。一般的な捉え方で子どもを見て欲しくない。人を決めつけて欲しくないということです。育つ、育てる、これはどういった違いがあるでしょう。私たちは子どもを育てているかのようなのですが、実は、子ども、あるいは社員は育つ力を持っているんです。それを引き出してあげる、どういう引き出し方ができるかというのは、大人の裁量に大きく関わっていると思います。ですから、ともに育つということがとても大切なんだと思います。「そっ啄の機」という言葉は、雛鳥が卵の中から、もう出たいと合図をすると、その音をキャッチした親鳥が外からタイミングよく殻を割って命が誕生するという意味ですが、親は気づかれぬように、子どもがまるで自分の力で割ったというように、自信をつけてやること、それがこの言葉の真髄ではないか。これは親子関係にも師弟関係にも言えることだと思えます。そういうグッドタイミングな状況を作るために必要なのは、まずは信頼関係を築き、そしてよく見ておく、観察しておく。さらに常にさりげなく寄り添っていることです。

最後に、私は将来、看取り師になりたいという夢を持っています。人とのかわり方で貴重な特別な時間をつくっていきたくと思っています。人生には生まれた時の始まりがあって、亡くなる時の終わりがある。物事もそうです。終わりがあるから、また始めることができます。その繰り返して私たちは今、この時を生きているんだと思えます。今日、こうして皆さんとお会いできたことを大切にしたいと思います。

◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	5月22日→24日8RC合同夜間例会に変更(阪)	高知南RC	5月23日→24日8RC合同夜間例会に変更(阪)
高知中央RC	5月23日→24日8RC合同夜間例会に変更(城)	高知西RC	5月24日→24日8RC合同夜間例会に変更(三)
高知北RC	5月27日→24日8RC合同夜間例会に変更(三)	高知RC	5月28日→24日8RC合同夜間例会に変更(三)
高知ロイヤルRC	5月28日→24日8RC合同夜間例会に変更(旭)	高知ロイヤルRC	6月11日→9日(日)トマト狩り例会に変更(旭)
高知南RC	6月13日→10日(月)日時計例会に変更(阪)	高知ロイヤルRC	6月18日→16日(日)10周年記念式典に変更(旭)
高知西RC	6月21日 夜間例会(三)	高知北RC	6月24日 年度末家族合同夜間例会(三)
高知RC	6月25日 あじさい夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	6月25日 夜間例会(旭)
高知東RC	6月26日 最終夜間例会(阪)	高知南RC	6月27日 最終夜間例会(阪)
高知中央RC	6月27日 最終夜間例会(城)		

※サインメモキャップのできるホテル (三)… 三翠園 (城)… 城西館 (阪)… ザ クラウンパレス新阪急高知 (旭)… ホテル日航高知旭ロイヤル

 **ニコニコ箱**

- 中村 裕司 「教えないから人が育つ」横田英毅のリーダー学を読みました。表紙の写真の襟に輝いているのはロータリーバッジだと勝手に思い込んでおります。
- 吉澤文治郎 Face bookで高知のいろんな痕跡を探究する「高知の痕跡学会」を勝手に立ち上げて展開しておりますところ、高知放送さんからまさかのオファー。今週金曜日15:50からの「こうちアイプラス」で、私の案内で高知の痕跡をやりますので、お暇な方だけご覧ください。野崎局長、ゴメンナサイ!
- 南 範子 5月12日、母の日には国際ソプロチミスト高知のチャリティバザーが大丸でありました。便宜を図ってくださった太田社長に感謝し、ニコニコします。
- 西山 彰一 弊社の前田光昭にライラセミナーへの参加、並びに報告の機会をいただきありがとうございました。これから少しでも貢献できるように、研鑽を続けることと思います。重ね重ね厚く御礼申し上げます。
- 松岡 宣明 本日の千頭会長の冒頭のお話「まさにその通り!」と思いました。ニコニコします。
- 日和崎二郎 先月、家内に素敵な誕生日のお花をいただきありがとうございました。
- 亥角 政春 結婚記念日のお祝いいただきありがとうございました。週報で気づきました。まだ間に合います。

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
5月14日	(-7)83	59	16	1	78.95
4月30日	ロータリー休日				

◇5月11・12日 短期交換 地区最終選考会並びにオリエンテーション/サンライズホテル



● 累計額 [5月14日現在]

ニコニコ箱	1,042,600円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦爛基金	152,103円	ポリオ募金	381,500円
-------	------------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [5月28日]

5月24日 合同夜間例会に振替/三翠園

◆ 6月4日のプログラム

ゲストスピーチ 中越 五月氏

創 立 昭和12年10月
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
 TEL(824)8660 FAX(824)2529
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>